

食品安全委員会の運営について（令和5年10月～令和5年12月）

1. 食品安全委員会の開催

10月：915回・916回・917回・918回（4回）

（1）食品健康影響評価の要請案件（4品目）

遺伝子組換え食品等（1品目）	・コウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ MON95275 系統(10/10)
農薬（3品目）	・フェリムゾン（10/31） ・プロスルホカルブ（10/31） ・ペントキサゾン（10/31）

（2）食品健康影響評価の結果通知案件（12品目）

農薬及び動物用医薬品（1品目）	・ブロフラニリド（10/3） <u>ADIを0.017mg/kg体重/日と設定、ARfDは設定する必要がないと判断</u>
農薬（5品目）	・ブプロフェジン（10/10） <u>ADIを0.009 mg/kg体重/日、ARfDを0.5 mg/kg体重と設定</u> ・イソチアニル（10/31） <u>ADIを0.028 mg/kg体重/日と設定、ARfDは設定する必要がないと判断</u> ・チオベンカルブ（10/31） <u>ADIを0.009 mg/kg体重/日、ARfDを1 mg/kg体重と設定</u> ・チフルザミド（10/31） <u>ADIを0.014 mg/kg体重/日、ARfDを0.25 mg/kg体重と設定</u> ・ブタクロール（10/31） <u>ADIを0.01 mg/kg体重/日、ARfDを0.49 mg/kg体重と設定</u>
動物用医薬品（4品目）	・タイロシン（10/17） <u>ADIを0.011 mg/kg体重/日と設定</u> ・マルボフロキサシンを有効成分とする豚の注射剤（フォーシル S）（10/17） <u>本製剤が適切に使用される限りにおいては、食品を通じて人の健康に影響を与える可能性は無視できる程度と考えられる。</u> <u>なお、本製剤の使用に当たっては、マルボフロキサシンがフルオロキノロン系抗菌性物質であることから、薬剤耐性菌に関する食品健康影響評価において、リスクの程度は中程度であると評価されていることに留意する必要がある。</u>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ケトプロフェン（10/31） <u>ADI を 0.00065 mg/kg 体重/日と設定</u> ・ツラスロマイシン及びケトプロフェンを有効成分とする牛の注射剤（ドラクシン KP）（10/31） <u>適切に使用される限りにおいては、食品を通じて人の健康に影響を与える可能性は無視できる程度と考えた。</u> なお、本製剤の使用に当たっては、ツラスロマイシンがマクロライド系抗菌性物質であることから、薬剤耐性菌に関する食品健康影響評価において、リスクの程度は低度であると評価されていることに留意する必要がある。
飼料添加物（2品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・3-ニトロオキシプロパノール（10/17） <u>ADI を 1 mg/kg 体重/日と設定</u> ・3-ニトロオキシプロパノールを有効成分とする飼料添加物（10/17） <u>飼料添加物として適切に使用される限りにおいては、食品を通じて人の健康に影響を与える可能性は無視できる程度と考えられる。</u>

（3）その他

- ・「食品安全委員会が既に食品健康影響評価の結果を有している評価対象について、食品安全基本法第24条の規定に基づき意見を求められた場合の取扱いについて」一部改正（10/10）
- ・令和4年度終了食品健康影響評価技術研究課題の事後評価結果報告（10/10）
- ・令和5年度食品健康影響評価技術研究の二次公募における採択課題決定（10/10）
- ・食品安全委員会の運営について（令和5年7月から9月まで）（10/31）

11月：第919回・920回・921回・922回（4回）

(1) 食品健康影響評価の要請案件（8品目、2案件）

農薬（8品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・イソフェタミド（11/28） ・カルベンダジム、チオファネート、チオファネートメチル及びベノミル（11/28） ・ジンプロピリダズ（11/28） ・スピロテトラマト（11/28） ・ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネート（11/28） ・フルキサメタミド（11/28） ・フルペンチオフェノックス（11/28） ・ピペロニルブトキシド（11/28）
プリオン（1案件）	<ul style="list-style-type: none"> ・牛肉骨粉等の鶏・豚等飼料への利用再開について（11/28）
動物用医薬品（1案件）	<ul style="list-style-type: none"> ・動物用ワクチンの添加剤として使用する成分（植物性ペプトン、鶏卵の卵黄成分）（11/14）

(2) 食品健康影響評価の結果通知案件（5品目、2案件）

プリオン（2案件）	<p>・ドイツから輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓（11/7）</p> <p><u>ドイツから輸入される牛の肉及び内臓の輸入条件について、①月齢制限を現行の「輸入禁止」から「月齢条件なし」としたとしても、人へのリスクは無視できると判断した。また、②SRMの範囲を現行の「輸入禁止」から「全月齢の扁桃及び回腸（盲腸との接続部分から2メートルの部分に限る。）</u>、30か月齢超の頭部（舌、頬肉、皮及び扁桃を除く。）並びに脊髄及び脊柱」としたとしても、人へのリスクは無視できると判断した。</p> <p><u>ドイツから輸入されるめん羊及び山羊の肉及び内臓の輸入条件について、現行の「輸入禁止」から「SRMの範囲を、12か月齢超の頭部（扁桃を含み、舌、頬肉及び皮を除く。）及び脊髄並びに全月齢の脾臓及び回腸とし、SRMを除去したもの」としたとしても、人へのリスクは無視できると判断した。</u></p> <p>・スウェーデンから輸入される牛肉及び牛の内臓（11/21）</p> <p><u>「国際的な基準を踏まえてさらに月齢の規制閾値（30か月齢）を引き上げた場合のリスク」に関し、スウェーデンから輸入される牛肉及び牛の内臓の月齢制限を「条件なし」としたとしても、人へのリスクは無視できると判断した。</u></p>
動物用医薬品（2品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・動物用ワクチンの添加剤として使用する成分（植物性ペプトン、鶏卵の卵黄成分）（11/14） <p><u>食品安全基本法第11条第1項第2号の「人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるとき」に該当すると認められる。</u></p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロフラニドを有効成分とする鶏舎噴霧剤（リブケア FL）（11/28） <u>本製剤が適切に使用される限りにおいては、食品を通じて人の健康に影響を与える可能性は無視できる程度と考えた。</u>
農薬及び動物用医薬品（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・フェニトロチオン（11/14） <u>ADIを0.0049 mg/kg 体重/日、ARfDを0.036 mg/kg 体重と設定</u>
農薬（2品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・イソフェタミド（11/28） <u>ADIを0.053 mg/kg 体重/日、ARfDを3 mg/kg 体重と設定</u> ・フルキサメタミド（11/28） <u>ADIを0.0085 mg/kg 体重/日と設定、ARfDは設定する必要がないと判断</u>

(3) その他

- ・令和6年度食品安全モニター募集（11/14）

12月：第923回・924回（2回）

(1) 食品健康影響評価の要請案件（2品目）

遺伝子組換え食品等（2品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・LEU-No.4株を利用して生産されたL-ロイシン（12/12） ・ML18456株を利用して生産したカンタキサンチン（12/12）
----------------	--

(2) 食品健康影響評価の結果通知案件（1品目、1案件）

動物用医薬品（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・フェノキシエタノール（12/26） <u>ADIを0.46 mg/kg 体重/日と設定</u>
微生物・ウイルス（1案件）	<ul style="list-style-type: none"> ・乳及び乳製品の成分規格等に関する省令の改正（12/26） <u>現状の牛乳等に対して、今般の改正による新たなリスク管理措置を導入したとしても、人の健康へのリスクが高まるとは考え難いと判断した。</u>

(3) その他

- ・研究活動上の不正行為に関する同研究所審理委員会における調査結果報告（12/26）

2. 専門調査会等の運営（全32回）

専門調査会等名	開催回数	調査審議案件
企画等	1回	・座長の選出、座長代理の指名、令和5年度食品安全委員会運営計画の実施状況の中間報告について、令和5年度食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の案件候補の選定について（11/17）
添加物	1回	・メチルセルロース（11/30）
農薬第一	3回	<ul style="list-style-type: none"> ・1,3-ジクロロプロペン（10/16） ・イミダクロプリド（11/9、12/11）
農薬第二	1回	・イミシアホス（12/6）
農薬第三	2回	・フェンプロピジン（10/23、11/13）
農薬第四	3回	・ホスチアゼート（10/20）

		<ul style="list-style-type: none"> ・アセフェート (11/16) ・メタミドホス (11/16) ・フサライド (12/14)
農薬第五	3回	<ul style="list-style-type: none"> ・カルタップ、チオシクラム及びベンスルタップ (10/13) ・エスプロカルブ (11/24) ・スピロテトラマト (12/15)
動物用医薬品	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・座長の選出・座長代理の指名 (10/23) ・フェノキシエタノール (10/23) ・フェノキシエタノールを有効成分とするすずき目魚類の薬浴剤 (バイオネンネ) (10/23)
器具・容器包装	1回	<ul style="list-style-type: none"> ・座長の選出・座長代理の指名 (11/16)
汚染物質等	1回	<ul style="list-style-type: none"> ・カドミウム (11/15)
微生物・ウイルス	1回	<ul style="list-style-type: none"> ・アニサキスのリスクプロファイル (10/30) ・乳及び乳製品の成分規格等に関する省令の改正 (10/30)
プリオン	1回	<ul style="list-style-type: none"> ・牛肉骨粉等の鶏・豚等用飼料への利用再開 (12/15)
遺伝子組換え食品等	3回	<ul style="list-style-type: none"> ・座長の選出・座長代理の指名 (10/27) ・コウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ MON95275 系統 (食品・飼料) (11/17) ・LEU-No. 4 株を利用して生産されたL-ロイシン (12/22) ・ML18456 株を利用して生産したカンタキサンチン (12/22)
肥料・飼料等	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・サルファ剤 (11/15) ・2-デアミノ-2-ヒドロキシメチオニンイソプロピルエステル (11/15)
栄養成分関連添加物ワーキンググループ	1回	<ul style="list-style-type: none"> ・座長の選出・座長代理の指名 (11/15)
薬剤耐性菌に関するワーキンググループ	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・座長の選出・座長代理の指名 (11/8) ・薬剤耐性 (AMR) 対策アクションプランに係る食品安全委員会行動計画の策定 (11/8) ・ホスホマイシンナトリウムを有効成分とする牛の注射剤 (動物用ホスミシンS (静注用)) (11/8、12/22) ・「家畜等への抗菌性物質の使用により選択される薬剤耐性菌の食品健康影響に関する評価指針」の改訂の検討 (12/22)
評価技術企画ワーキンググループ	1回	<ul style="list-style-type: none"> ・疫学研究で得られた用量反応データへのベンチマークドーズ法の適用 (11/30)
有機フッ素化合物 (PFAS) ワーキンググループ	3回	<ul style="list-style-type: none"> ・有機フッ素化合物 (PFAS) (10/30、11/24、12/25)

3. 意見交換会の開催等

(1) 講師派遣 (全6回、うち委員5回)

開催日	開催地	講演会名	依頼者	対象者
10/5	東京都	令和5年度食の安全都民フォーラム 「おいしく安全に肉料理を楽しむには」 (香西委員)	東京都健康安全研究センター	一般消費者、食品関係事業者、行政職員
10/20	東京都	令和5年度全国食品衛生監視員研修会 「食品安全委員会の20年 これまでの歩みと今後の展望」 (浅野委員)	全国食品衛生監視員協議会	都道府県、保健所設置市、特別区、検疫所及び地方厚生局の食品衛生担当職員
11/22	Web	食品微生物のリスク評価とハザードコントロール 「食品微生物におけるリスクと予測微生物学」 (山本委員長)	一般社団法人AOAC日本	食品関係事業者、団体、行政関係者、大学等教育指導者、学生
12/2	Web	三重県食の安全・安心研修会 「食品添加物の現状と私たちの選択」 (川西委員)	三重県農林水産部	一般消費者、食品関係事業者、行政職員
12/6	群馬県	令和5年度群馬県食品安全セミナー 「食品添加物の安全性の評価について」 (川西委員)	群馬県健康福祉部	一般消費者
12/11	東京都	行政活性化推進委員会 「食品安全委員会設立20年 —これまでの歩みと新たなリスク評価の課題—」	株式会社時評社	行政活性化推進委員会委員及び事務局員

(2) 学会講演 (全1回)

開催日	学会名	内容
11/12	第45回日本臨床栄養学会総会・ 第44回日本臨床栄養協会総会 第21回大連合大会 (脇委員)	ワークショップ「食事療養費の現状、栄養管理はサステナブルか？」：座長 教育講演「代替食品・大豆たんぱく質の抗筋萎縮効果」

(3) 意見交換会等 (全5回)

開催日	内容	共催団体	対象
10/16	「知って防ごう食中毒」 ～食中毒防止のフレーズを考える～	沖縄県	学生
11/6	食品に関するリスクコミュニケーション @アットビジネスセンターPREMIUM 新大阪 「食品中の放射性物質と復興の歩み」 —放射性物質の基礎知識（『放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料』から学ぶ）—	消費者庁、厚生労働省、農林水産省、経済産業省	一般消費者
11/15	食品に関するリスクコミュニケーション @フクラシア品川クリスタル(港南) 「食品中の放射性物質と復興の歩み」 —原発事故後の放射線による健康影響について—	消費者庁、厚生労働省、農林水産省、経済産業省	一般消費者

11/27	第2回 報道関係者との意見交換会 「農薬の再評価に係る食品健康影響評価」について ～試験データを私たちはどう判断するのか～ (解説：浅野委員、ファシリテーター：松永委員)	—	報道関係者
12/1	「身近な食品のリスク」 ～今日から知って、考えて、行動しよう～ 「食品安全の基本とカフェインの安全性について」	京都府	学生

(4) 訪問学習 (全1回)

開催日	内容	依頼者
12/5	「食品の安全を守るしくみ」等	防衛医科大学校

(5) 親子イベント出展 (全1回)

開催日	イベント名	共催団体	対象
10/28-29	親子で学ぼう！体験しよう！“食品安全” (大阪：咲洲こども EXPO 2023)	消費者庁、厚生労働省、農林水産省、経済産業省	一般消費者

4. 情報提供

(1) Facebook、ブログ

健康に被害を及ぼすおそれのある案件、国民の関心が高い案件についての機動的な情報提供。

■ 10月： 13記事

閲覧数 (Facebook) 41,957 人/月、 (ブログ) 3,902 人/月

投稿日	記事内容
4	食品安全委員会の山本委員長が食生活ジャーナリストの会で食品安全委員会の創立20周年を振り返る講演を実施しました (9月28日)
5	10/3に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。 食品安全委員会 (第915回) に自見食品安全担当大臣が出席しました。
6	【食品安全委員会 10/2～10/6の公表事項】
11	10/10に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。 食品安全委員会創立20周年記念コラム第5回 「アクリルアミドともやし炒め～リスク評価のその後は？」を掲載しました
12	10月は食中毒事件が多い時期です。黄色ブドウ球菌に注意！
13	【食品安全委員会 10/10～10/13の公表事項】
18	10/17に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
19	【トランス脂肪酸について～気にしすぎず、バランスのよい食生活を～】
20	【食品安全委員会 10/16～10/20の公表事項】
23	沖縄県との共催で、調理科の高校生に食品安全に関する授業を行いました (10月16日)
27	【食品安全委員会 10/23～10/27の公表事項】

■ 11月： 16記事

閲覧数 (Facebook) 36,964 人/月、 (ブログ) 3,618 人/月

投稿日	記事内容
1	10/31 に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
2	【食品安全委員会 10/30～11/2 の公表事項】
8	11/7 に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。 ノロウイルスによる食中毒にご注意ください～その1：手洗いをしっかり～
9	11月 は薬剤耐性（AMR）対策推進月間です！（第1回）
10	【食品安全委員会 11/6～11/10 の公表事項】
15	11/14 に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
16	11月 は薬剤耐性（AMR）対策推進月間です！（第2回）：「薬剤耐性菌」の食品健康影響評価
17	【食品安全委員会 11/13～11/17 の公表事項】 フグの稚魚がシラスや小あじのパックなどに含まれた商品が販売される事案が時々おきています。
22	11/21 に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。 今月は薬剤耐性（AMR）対策推進月間です！（第3回）：食品安全委員会と関係府省との関わり
24	【食品安全委員会 11/20～11/24 の公表事項】
27	食品安全委員会創立 20 周年記念コラム第 6 回 「BSE 問題前編～20 年前、食品安全委員会設立のきっかけに」を掲載しました
29	11/28 に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。 食品安全委員会は第 2 回報道関係者との意見交換会を実施しました（11 月 27 日）

■ 12月：17記事

閲覧数（Facebook）41,017 人/月、（ブログ）3,458 人/月

投稿日	記事内容
1	【食品安全モニターの募集を開始しました】 【食品安全委員会 11/27～12/1 の公表事項】
6	PFOA 及び PFOS に関する Q&A を公開しました
8	【食品安全委員会 12/4～12/8 の公表事項】
13	ノロウイルスによる食中毒にご注意ください～その2：おう吐や下痢などの症状がある時はできる限り食材を扱わないようにしましょう～ 12/12 に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
15	【訪問学習】防衛医科大学校の学生の訪問学習を実施しました 【食品安全委員会 12/11～12/15 の公表事項】
18	京都府との共催で、大学生を対象としたリスクコミュニケーションを開催しました（12月1日）
19	食品安全委員会創立 20 周年記念コラム第 7 回 「BSE 問題後編」～プリオン病情報を収集し、リスクに備える」を掲載しました
21	お肉、おいしく安全に調理できていますか？～肉の低温料理の注意点を動画で公開中～
22	【食品安全委員会 12/18～12/22 の公表事項】
25	"Food Safety" has just been published. 食品安全委員会の英文電子ジャーナル Vol. 11, No. 4 を公開しました。
26	【食品安全モニター募集中】
27	12/26 に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。

28 【食品安全委員会 12/25～12/28 の公表事項】

(2) X (旧 Twitter)

食中毒の防止法等、一般消費者にとって身近で関心（共感）の高いものや、タイムリーなもの、緊急性の高いものを中心に情報発信。

■ 10月：6記事

閲覧数 131,384 件/月、フォロワー 2,537 人

投稿日	記事内容
4	食生活ジャーナリストの会にて、食品安全委員会山本委員長が創立 20 周年を振り返る講演を実施しました。委員会発足のきっかけとなった BSE 発生当時の状況の他、今まで行ってきたリスク評価の成果と今後の展望について解説しました。詳細はこちらから
5	令和 5 年 10 月 3 日（火）の第 915 回食品安全委員会に自見食品安全担当大臣が出席しました。国民の皆様が安心して食生活を送ることができるよう、食品安全行政の推進にまい進していくとの挨拶がありました。
11	食品安全委員会 20 周年を振り返る松永委員執筆の連載コラム第 5 回は「アクリルアミドともやし炒め?リスク評価のその後は?」。加熱調理でできる発がん物質アクリルアミドについて、当委員会のリスク評価の経緯や最新情報をお伝えしています。是非ご覧ください。
12	実は 10 月は食中毒の発生が多い時期です。「黄色ブドウ球菌」は私たちの周りの環境に広く存在し食中毒の原因になる菌です。野外でのレジャーや運動会など、お弁当等を作るときは食中毒菌を「つけない」対策を。また作った料理は早めに食べきるなど「ふやさない」対策を。
19	心筋梗塞などの要因といわれる #トランス脂肪酸、日本人の平均的な食生活では健康への影響は小さい。避けようと気にしすぎると、今度は飽和脂肪酸をとりすぎることにも。脂質全体のとりすぎに注意し、#栄養バランス の良い食生活を
23	沖縄県との共催で、調理科の高校生向けに「知って防ごう食中毒」というテーマで講義とグループワークを行いました。食品安全委員会は自治体等に対し、食の安全に関するセミナーの講師派遣や共催のリスコミを行っています。ご関心あればご相談ください

■ 11月：7記事

閲覧数 79,264 件/月、フォロワー 2,580 人

投稿日	記事内容
8	#ノロウイルス 食中毒は冬に多く発生しています。ノロウイルス食中毒を防ぐ基本は「手洗い」です！また調理器具を清潔にすることも重要。さらに、ウイルスの感染力を失わせるには食品の中心部分を 85℃～90℃で 90 秒間以上の加熱が必要です。
9	11 月は「薬剤耐性（AMR）対策推進月間」です。薬剤耐性とは感染症の原因となる微生物に対して抗菌性物質が効きにくくなったり、効かなくなることを指します。国際的な課題であり、日本でも関係省庁が連携して薬剤耐性菌の拡大防止に取り組んでいます。
16	11 月は「薬剤耐性（AMR）対策推進月間」です。食品安全委員会は、家畜などに抗菌性物質が使われることで選択された薬剤耐性菌が、食品を介して人に伝播し、人がその薬剤耐性菌を原因とする感染症を発症した場合に、人の健康にどの程度、影響を及ぼすのか評価しています。

17	#フグの稚魚がシラスや小あじのパックなどに含まれた商品が販売される事案が時々おきています。フグの稚魚について毒性物質テトロドトキシンが蓄積しないわけではない研究報告もあります。このような事例を見つけた場合は決して食べないでください。
22	11月は「薬剤耐性（AMR）対策推進月間」です。食品安全委員会が実施した評価の結果を踏まえ、農林水産省では規制や監視を強化しています。関係省庁が連携することにより、薬剤耐性菌による人の健康への食品を介した影響の未然防止、畜水産物の安全性の確保につながっています。
27	松永委員執筆の連載コラム第6回は「BSE問題前編～20年前、食品安全委員会設立のきっかけに」。2003年の設立以降、当委員会はBSE問題について最新の科学に基づきリスク評価やリスクミを実施しています。これまでや現在の取り組みを前・後編でお伝えします。
29	報道関係者との意見交換会「#農薬の#再評価に係る食品健康影響評価」を行いました。2021年から始まった農薬の再評価制度、先般第一弾として4農薬の評価結果が公表されました。改めて再評価制度の全体像、特に#食品安全委員会が担う安全性評価がどう行われているかについて、意見を交わしました。

■ 12月：6記事

閲覧数 110,471件/月、フォロワー 2,615人

投稿日	記事内容
1	【食品安全モニターを募集します】 食品安全モニターは、食品の安全確保に関する一定の知識を持つ方から、国に対して、直接ご意見をお寄せいただく制度です。特典として無料で研修を受けることができます。〆2024年1月25日(木)17時 ご応募、お待ちしております。詳細はこちら
6	#PFOA（パーフルオロオクタン酸）及び #PFOS（パーフルオロオクタンスルホン酸）発がん性分類に関するQ&Aを公開しました。PFOA及びPFOSとは何か？国際がん研究機関（IARC）の#発がん性分類は何を示している？#IARCの評価結果と根拠は？気になった方はご確認ください
13	ノロウイルス食中毒に注意。イベントでの弁当や施設内で提供された食品が原因とみられる事例が数多く報告されています。おう吐や下痢などの症状がある方は食材を扱わないようにしましょう。感染者の触れた場所にウイルスがいることがあります。食材を扱う前に手洗いの徹底を！
19	松永委員執筆の連載コラム第7回は「BSE問題後編～プリオン病情報を収集し、リスクに備える」。今回は、定型BSE以外のプリオン病についての情報をまとめ、当委員会の取り組みについて紹介します。是非ご覧ください。
21	#クリスマス や #お正月 にお肉料理をするときは、加熱不足による食中毒に注意しましょう。安全な肉料理のためのポイントを #食品安全委員会 公式YouTubeチャンネルで紹介しています。安全でおいしい #肉料理 で楽しい年末年始をお過ごしください。
26	内閣府食品安全委員会では現在食品安全モニターを募集中です。あなたも日常で気がついたことの報告や提言などをしてみませんか。多くの方のご応募をお待ちしております。詳細はこちら

食品健康影響評価の審議状況

2023.12.31現在

区分	諮問案件						自ら評価 評価終了 注5)
	要請件数 注1、2)	うち 令和5年度 分	審議中 注3)	意見 募集中 注4)	評価終了 件数	うち 令和5年 度分	
添加物	314	4	11		303	1	
栄養成分添加物	2				2		
香料	7				7		
農薬	1410	26	164	3	1243	23	
うちポジティブリスト関係	543	1	130		413	1	
うち清涼飲料水	25				25		
うち飼料中の残留農薬基準	59		16		43		
動物用医薬品	670	7	14	1	655	13	
うちポジティブリスト関係	140		10		130	2	
器具・容器包装	23	2	1		22	2	
汚染物質等	68			1	67		3
うち清涼飲料水	52				52		
微生物・ウイルス	22	1			22	1	2
プリオン	70	2	9		61	2	14
かび毒・自然毒	9				9		5
遺伝子組換え食品等	386	11	20	4	362	3	
新開発食品	91				91		3
肥料・飼料等	330	8	27		303	12	
うちポジティブリスト関係	142		21		121	1	
薬剤耐性菌	74	2	9		65	3	1
高濃度にジアシルグリセロールを含む食品に関するWG	1				1		
食品による窒息事故に関するWG	1				1		
放射性物質の食品健康影響に関するWG	2				2		
アレルゲンを含む食品に関するWG							1
その他(指定成分、アルミニウム等)	2				2		1
合計	3482	63	255	9	3218	60	30

- (注) 1 リスク管理機関から、評価要請後に取り下げ申請があった場合には、その分を要請件数から減じている。
2 評価の過程で新たに審議する必要がある案件が生じた場合には、評価終了時にその案件数を要請件数に加算している。
3 「審議中」欄には、審議継続の案件のほか、今後検討を開始するものを含む。
4 「意見募集中」欄には、意見情報の募集を締め切った後に検討中のものも含む。
5 自ら評価案件については、「評価終了」の欄では、複数省庁に答申したもの、答申が複数案件となったもの等について、その数を記入しているものもある。
6 「飼料中の残留農薬基準」欄については、ポジティブリスト制度の導入に際して、飼料中の残留基準が設定された農薬についての食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件数である。
7 「薬剤耐性菌」欄には、肥飼料・微生物合同調査会(H18.3.6～H27.8.24)で審議したものも含む。

委員会の意見の聴取に関する案件の審議状況

(2023年12月31日現在)

参考2

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	件数
2003/12/8	農	薬剤耐性菌 飼料添加物として指定された抗菌性物質、動物用医薬品のうち、飼料添加物として指定されている抗菌性物質と同一又は同系統で薬剤耐性の交差が認められる抗菌性物質により選択される薬剤耐性菌※（水生動物に使用するスルホンアミド系合成抗菌剤、テトラサイクリン系抗生物質及びマクロライド系抗生物質。）	3
2004/10/29	農	薬剤耐性菌 チアンフェニコールを有効成分とする牛及び豚の注射剤（ネオマイゾン注射液及びバシット注射液）、アンピシリンナトリウムを有効成分とする牛の注射剤（注射用ビクシリン）	2
2005/2/14	厚	農薬 ジコホールー	1
2005/8/5	農	肥料・飼料等 スルファメトキサゾール及びトリメトプリムを有効成分とする豚の飲水添加剤（動物用シノラル液） 【再審査】 ■	1
2005/8/5	農	薬剤耐性菌 ホスホマイシンナトリウムを有効成分とする牛の注射剤（動物用ホスミンS（静注用）） 【再審査】 ■	1
2005/9/13	厚	肥料・飼料等 スルファメトキサゾール■	1
2006/7/18	厚	肥料・飼料等 スルファメトキサゾール☆	1
2006/7/18	厚	農薬 ジコホール☆	1
2006/12/19	厚	農薬 フリラゾール☆	1
2007/1/12	厚	農薬 イマゼタピルアンモニウム塩☆、ピノキサデン☆	2
2007/2/6	厚	農薬 スピロキサミン☆	1
2007/2/6	厚	動物用医薬品 アレスリン☆、クロルマジノン☆、スルフィソゾール☆	3
2007/3/6	厚	農薬 トリチコナゾール☆	1
2007/3/20	厚	肥料・飼料等 スルファジメトキシ☆、スルファモトキシ☆	2
2007/6/5	厚	農薬 メソスルフロンメチル☆、スルフェントラゾン☆	2
2007/10/2	厚	農薬 ジクロメジン〈一部☆〉	2
2007/12/18	厚	農薬 クロピラリド☆、イソキサジフェンエチル☆	2
2008/3/11	厚	農薬 酸化プロピレン☆、プロディファコウム☆	2
2008/3/25	厚	農薬 イプロバリカルブ☆、スルホスルフロン☆、ピリデート☆、フッ化スルフルル☆	4
2008/7/8	厚	農薬 クロキントセットメキシル☆、クロジナホッププロパルギル☆	2
2008/7/8	厚	器具・容器包装 ビスフェノールAがヒトの健康に与える影響について※	1
2009/2/3	厚	農薬及び動物用医薬品 ホキシム☆	2
2009/2/9	厚	農薬 エチオン☆、オキシデメトンメチル☆、ジクロラン☆、ジノカップ☆、フェンプロピモルフ☆、ベナラキシル☆、ホレート☆	7
2009/3/24	厚	農薬 パラチオンメチル☆	1
2009/3/24	厚	農薬及び動物用医薬品 ジクロルボス及びナレド☆	2
2010/2/16	厚	対象外物質 アスタキサンチン☆、β-アポ-8'-カロチン酸エチルエステル☆、β-カロテン☆、酒石酸☆、トウガラシ色素☆、乳酸☆〈農業用途もあり〉、マリーゴールド色素☆、メナジオン☆、レチノール☆	10
2010/3/1	厚	農薬 フルロキシピル☆	1
2010/5/11	厚	農薬 クロルデン☆	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	件数
2010/8/12	厚	農薬 ハロキシホップ☆	1
2010/9/13	厚	農薬 クロマゾン☆、トリクロピル☆	2
2010/9/27	厚	農薬 酸化フェンブタズ☆	1
2010/11/12	厚	農薬 イマザリル☆、ジフルフェンゾピル☆、ジメチピン☆、テルブホス☆、トリアスルフロン☆、パラチオン☆、ビクロゾリン☆、モノクロトホス☆	8
2010/11/15	農	農薬 テルブホス (飼料中) ☆	1
2010/12/10	厚	農薬及び動物用医薬品 クロルフェンビンホス☆、メトプレン☆	4
2010/12/10	農	農薬 メトプレン (飼料中) ☆	1
2011/1/24	厚	農薬 ペンコナゾール☆	1
2011/2/10	厚	農薬 エンドスルファン☆、クロリムロンエチル☆、クロルタールジメチル☆	3
2011/4/19	厚	添加物 カルミン-	1
2011/3/25	厚	農薬 エタメツルフロンメチル☆、ジスルホトン☆、ブロモキシニル☆	3
2011/4/25	農	農薬 ブロモキシニル (飼料中) ☆	1
2011/9/22	厚	農薬 EPTC☆、アミノピラリド☆、イオドスルフロンメチル☆、クロルスルフロン☆、シクロキシジム☆、ジフェンゾコート☆、テクナゼン☆、ニコスルフロン☆、マレイン酸ヒドラジド☆、メトスルフロンメチル☆	10
2011/10/11	厚	農薬 ジクロホップメチル☆、トリベヌロンメチル☆、ピクロラム☆、フェノキサプロップエチル☆、ブタフェナシル☆、フルオメツロン☆、アトラジン☆	7
2011/10/11	農	農薬 アトラジン (飼料中) ☆	1
2011/11/18	厚	農薬 トラルコキシジム☆、フェノキシカルブ☆、プロスルフロン☆	3
2011/12/19	厚	プリオン 牛海綿状脳症 (BSE) 対策の見直し (オランダ) ②&※	1
2012/1/23	厚	農薬及び動物用医薬品 シハロトリン☆	2
2012/1/23	農	農薬 エチオン (飼料中) ☆、ホレート (飼料中) ☆、シハロトリン (飼料中) ☆、ジクロロボス及びナレド (飼料中) ☆	4
2012/1/23	厚	肥料・飼料等 スルファジミジン☆	1
2012/3/26	厚	農薬 リムスルフロン☆	1
2012/5/21	厚	農薬 4-クロルフェノキシ酢酸☆、トリデモルフ☆、フラムプロップメチル☆	3
2012/7/18	厚	農薬 テフルトリン☆	1
2012/8/21	厚	農薬 フサライド☆、フルスルファミド☆	2
2012/9/18	厚	農薬 メコプロップ☆	1
2013/1/22	農	農薬 クロルピリホスメチル (飼料中) ☆、クロルフェンビンホス (飼料中) ☆、シマジン (飼料中) ☆、パラチオン (飼料中) ☆	4
2013/1/30	厚	農薬 クロルピリホスメチル☆、シマジン☆	2
2013/3/12	厚	農薬 アイオキシニル☆、エテホン☆、オキサミル☆、カルフェントラゾンエチル☆、クロリダゾン☆、ターバシル☆、ピリミホスメチル☆、フルシトリネート☆、ホルクロルフェニユロン☆、メタミトロン☆、メチダチオン☆、レナシル☆	12
2013/3/13	農	農薬 ピリミホスメチル (飼料中) ☆	1
2013/4/2	厚	プリオン ポーランドから輸入される牛肉及び牛の内臓について※	1
2013/6/12	厚	農薬 アラニカルブ☆、イマザキン☆、ジウロン☆、シプロコナゾール☆、ジメトエート☆、フルキンコナゾール☆	6

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	件数
2013/6/10	農	農薬 γ -BHC (飼料中) ☆、ジメトエート (飼料中) ☆、メチダチオン (飼料中) ☆	3
2011/9/22	厚	農薬 2,4-DB☆	1
2013/8/20	厚	農薬 DBEDC■<一部☆>、ノニルフェノールスルホン酸銅■<一部☆>、イマザモックスアンモニウム塩☆、ヒメキサゾール☆、メトリブジン☆、リニユロン☆	8
2013/8/20	厚	肥料・飼料等及び農薬 ジヒドロストレプトマイシン及びストレプトマイシン☆	2
2014/9/9	厚	農薬 ピラゾリネート☆	1
2015/5/14	厚	プリオン スイス及びリヒテンシュタインから輸入される牛肉及び牛の内臓※	2
2015/9/30	厚	プリオン イタリアから輸入される牛肉及び牛の内臓※	1
2015/12/18	厚	プリオン 牛海綿状脳症 (BSE) 国内対策の見直し&※	1
2017/4/19	厚	農薬 ピレトリン☆	1
2017/8/3	厚	プリオン 英国から輸入される牛、めん羊及び山羊の肉並びに内臓※	1
2017/11/30	厚	遺伝子組換え食品等 ミラクリン発現トマトTU-IPI05B-1 (食品) ■	1
2017/12/20	農	遺伝子組換え食品等 ミラクリン発現トマトTU-IPI05B-1 (飼料) ■	1
2018/7/4	農	薬剤耐性菌 バルネムリン塩酸塩を有効成分とする豚の飼料添加剤 (エコノアプレミックス1%及びエコノアプレミックス10%) ※再審査■	1
2019/2/27	農	薬剤耐性菌 アモキシシリン水和物を有効成分とする牛及び豚の注射剤 (アモスタックLA注) ※再審査■	1
2019/10/24	厚	遺伝子組換え食品等 チョウ目害虫抵抗性サトウキビ CTC175-A■、CA02-1191株を利用して生産されたL-グルタミン酸ナトリウム■	2
2020/2/13	厚	肥料・飼料等 ジニトルミド☆	1
2020/3/17	厚	動物用医薬品 ジブチルサクシネート☆、ノルジェストメット☆	2
2020/3/17	厚	肥料・飼料等 スルファクロルピリダジン☆、スルファジアジン☆、スルファドキシム☆、スルファモイルダプソン☆、スルファキノキサリン☆	5
2021/5/14	農	遺伝子組換え食品等 DHA産生及び除草剤グルホシネート耐性キャノーラ (NS-B50027-4) (飼料) ■	1
2021/5/17	厚	遺伝子組換え食品等 DHA産生及び除草剤グルホシネート耐性キャノーラ (NS-B50027-4) (食品) ■	1
2022/3/23	厚	農薬 ヨウ化メチル■	1
2022/3/16	厚	遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ (DP915635) (食品) ■	1
2022/3/15	農	遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ (DP915635) (飼料) ■	1
2022/4/21	厚	農薬及び動物用医薬品 シペルメトリン■	1
2022/6/15	農	薬剤耐性菌 アミノグリコシド系抗生物質が動物用医薬品として家畜に投与された場合に選択される薬剤耐性菌※	1
2022/8/23	厚	添加物 亜硫酸ナトリウム■、次亜硫酸ナトリウム■、二酸化硫黄■、ピロ亜硫酸カリウム■、ピロ亜硫酸ナトリウム■	5
2022/8/24	厚	農薬 イミシアホス■	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	件数
2022/9/27	厚	遺伝子組換え食品等 JPAo010株を利用して生産されたポリフェノールオキシダーゼ■	1
2022/12/1	厚	添加物 亜塩素酸水■	1
2022/12/14	厚	農薬 チオジカルブ及びびメソミル☆	1
2022/12/14	厚	農薬及び動物用医薬品 イミダクロプリド■、クロチアニジン■、ピペロニルブトキシド☆	6
2022/12/14	厚	動物用医薬品 プラレトリン■	1
2022/12/14	農	農薬 アセタミプリド※、イミダクロプリド※、クロチアニジン※、ジノテフラン※、チアメトキサム※	5
2022/12/14	農	動物用医薬品 クロチアニジンとd-d-T80-プラレトリンを有効成分とする畜舎噴霧剤（ヌーベルショット、トリプルアクセル）■	1
2023/1/10	厚	遺伝子組換え食品等 Trichoderma reesei RF6197株を使用して生産されたペクチナーゼ■、Trichoderma reesei RF6201株を使用して生産されたペクチナーゼ■	2
2023/1/25	農	農薬 グリホサート※	1
2023/3/22	農	農薬 エスプロカルブ※、フェンメディファム※、フサライド※	3
2023/3/7	農	遺伝子組換え食品等 JPAo012株を利用して生産されたフィターゼ■	1
2023/5/30	厚	添加物 メチルセルロース■、カルボキシメチルセルロースカルシウムー、カルボキシメチルセルロースナトリウムー、デンプングリコール酸ナトリウムー	4
2023/6/28	厚	プリオン ベルギーから輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓について※	1
2023/7/3	厚	遺伝子組換え食品等 チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホサート耐性トウモロコシ(DAS1131) ■	1
2023/7/4	農	遺伝子組換え食品等 チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホサート耐性トウモロコシ(DAS1131) ■、JPBL011株を利用して生産されたα-アミラーゼ■	2
2023/7/13	厚	農薬 アセフェート■、ホスチアゼート■、メタミドホス■	3
2023/7/13	厚	肥料・飼料等 2-デアミノ-2-ヒドロキシメチオニンイソプロピルエステルを飼料添加物として使用した家畜に由来する食品の安全性※	1
2023/7/12	農	肥料・飼料等 2-デアミノ-2-ヒドロキシメチオニンイソプロピルエステル■	1
2023/8/22	農	遺伝子組換え食品等 チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(DP910521) ■	1
2023/8/30	厚	肥料・飼料等 アナカルド酸■	1
2023/8/31	厚	農薬 カルタップ、チオシクラム及びベンスルタップ■、ジアフェンチウロン☆、フェンプロピジン■	3
2023/8/30	農	肥料・飼料等 カシューナッツ殻液■	1
2023/10/3	厚	遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMON95275系統■	1
2023/10/3	農	遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMON95275系統■	1
2023/10/25	農	農薬 フェリムゾン※、プロスルホカルブ※、ペントキサゾン※	3
2023/11/21	厚	農薬 カルベンダジム、チオファネート、チオファネートメチル及びベノミル■（一部☆）、ジンプロピリダズ■、スピロテトラマト■、ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネート■、フルペンチオフェノックス■	5

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	件数
2023/11/21	農	農薬 カルベンダジム、チオファネート、チオファネートメチル及びベノミル■〈一部☆〉、ピペロニルブトキシド☆	2
2023/11/21	農	プリオン 牛肉骨粉等の鶏・豚等飼料への利用再開についてー	1
2023/12/5	厚	遺伝子組換え食品等 LEU-No. 4株を利用して生産されたL-ロイシン■	1
2023/12/5	農	遺伝子組換え食品等 ML18456株を利用して生産したカンタキサンチン■	1
-	-	有機フッ素化合物 (PFAS) ◎	1

256

(注)

ー：食品安全基本法第24条第1項案件（企業申請を含まない。）

☆：ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件

※：食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件

■：食品安全基本法第24条第1項に基づく意見聴取案件かつ企業申請案件（平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ）

◎：食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価案件

II 専門調査会における審議結果（案）について意見募集を行っているもの

募集期間	対象となる審議結果（案）	件数
2023/10/11～2023/11/9	農薬 発芽スイートルーピン抽出たんぱく質■	1
2023/11/1～2023/11/30	農薬 キノフメリン■	1
2023/11/15～2023/12/14	遺伝子組換え食品等 Ra α 3114株を利用して生産されたプロテアーゼ■	1
2023/11/29～2023/12/28	器具・容器包装 カドミウムー	1
2023/11/29～2023/12/28	動物用医薬品 フェノキシエタノールを有効成分とするすずき目魚類の薬浴剤（製剤名：バイオネンネ）■	1
2023/11/29～2023/12/28	遺伝子組換え食品等 JPAo011株を利用して生産されたホスホリパーゼ■	1
2023/11/29～2023/12/28	遺伝子組換え食品等 JPAo006株を利用して生産されたリパーゼ■	1
2023/12/13～2024/1/11	農薬 1,3-ジクロロプロペン※	1
2023/12/13～2024/1/11	遺伝子組換え食品等 チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP910521）■	1

9

（注）

- ー：食品安全基本法第24条第1項案件（企業申請を含まない。）
- ☆：ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件
- ※：食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件
- ：食品安全基本法第24条第1項に基づく意見聴取案件かつ企業申請案件（平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ）
- ◎：食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価案件

Ⅲ 食品安全委員会において既に食品健康影響評価を終了したもの（令和5年度）

通知日	通知先	食品健康影響評価の対象	件数
2023/4/12	厚	肥料・飼料等 エトパベート☆	1
2023/4/12	厚	遺伝子組換え食品等 DIDK-0176株を利用して生産されたホスホリパーゼ■、ROM株を利用して生産されたα-アミラーゼ■	2
2023/4/12	厚	農薬 ジクロロメゾチアズ■	1
2023/5/9	厚	農薬 1,4-ジメチルナフタレン■、ジメスルファゼット■	2
2023/5/17	農	肥料・飼料等 マルボフロキサシンを有効成分とする牛の注射剤（フォーシル）■	1
2023/5/17	厚	農薬 1-メチルシクロプロペン■	1
2023/5/17	厚	農薬 クロルフルアズロン■、テブフェンピラド■	2
2023/5/19	農	肥料・飼料等 普通肥料公定規格改正_菌体りん酸肥料-	1
2023/5/31	厚	農薬及び飼料添加物 シンナムアルデヒド（ケイ皮アルデヒド）■	2
2023/5/31	厚	遺伝子組換え食品等 Geobacillus stearothermophilus TP7株を使用して生産されたプロテアーゼ■	1
2023/5/31	厚	肥料・飼料等及び薬剤耐性菌 マルボフロキサシンを有効成分とする牛及び豚の注射剤（マルボシル2%、10%）■	2
2023/6/7	厚	添加物 ポリビニルアルコール■	1
2023/6/7	厚	器具・容器包装 食品衛生法第18条第1項の規定に基づき、食品、添加物等の規格基準（昭和34年厚生省告示第370号）に定める器具及び容器包装の規格を改正することについて、食品衛生法第52条第1項の規定に基づき、器具又は容器包装を製造する営業の施設の衛生的な管理その他公衆衛生上必要な措置に関する基準を改正することについて-	2
2023/6/8	農	肥料・飼料等 遺伝子組換え技術によって得られたKomagataella phaffii を利用して生産されたフィターゼ■	1
2023/7/5	農	肥料・飼料等 ムラミダーゼー	1
2023/7/6	厚	農薬及び動物用医薬品 エマメクチン安息香酸塩☆	2
2023/7/12	厚	動物用医薬品 ヒドロコルチゾン☆	1
2023/7/12	厚	農薬 プロチオホス■	1
2023/7/20	厚	農薬 フロニカミド■、ポリオキシシンD亜鉛塩■	2
2023/7/25	農	薬剤耐性菌 マルボフロキサシンを有効成分とする豚の注射剤（フォーシルS）■	1
2023/8/1	農	薬剤耐性菌 ツラスロマイシン及びケトプロフェンを有効成分とする牛の注射剤（ドラクシンKP）■	1
2023/8/1	厚	農薬 イソピラザム■、プロシミドン■	2
2023/8/10	農	動物用医薬品 牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢2価・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス感染症・牛アデノウイルス感染症混合生ワクチン（“京都微研、カーフウィン6）■	1
2023/9/8	厚	動物用医薬品 モサプリドー	1
2023/9/15	厚	農薬及び動物用医薬品 シフルトリナー	2

Ⅲ 食品安全委員会において既に食品健康影響評価を終了したもの（令和5年度）

通知日	通知先	食品健康影響評価の対象	件数
2023/9/20	農	動物用医薬品 アセトアミノフェンを有効成分とする豚の経口投与剤（アレンジャー30）■、アセトアミノフェンを有効成分とする豚の経口投与剤（ピレキシシ10%）■	2
2023/10/4	厚	農薬及び動物用医薬品 プロフラニリド■	2
2023/10/11	厚	農薬 ププロフェジン■	1
2023/10/18	厚	肥料・飼料等 3-ニトロオキシプロパノール■	1
2023/10/18	農	肥料・飼料等 3-ニトロオキシプロパノールを有効成分とする飼料添加物■	1
2023/10/18	農	肥料・飼料等 マルボフロキサシンを有効成分とする豚の注射剤（フォーシルS）■	1
2023/10/18	厚	肥料・飼料等 タイロシン■	1
2023/11/1	農	農薬 チオベンカルブ※、チフルザミド※、ブタクロール※、イソチアニル※	4
2023/11/1	農	動物用医薬品 ツラスロマイシン及びケトプロフェンを有効成分とする牛の注射剤（ドラクシンKP）■	2
2023/11/7	厚	プリオン ドイツから輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓※	1
2023/11/16	厚	農薬及び動物用医薬品 フェニトロチオン■	1
2023/11/16	農	動物用医薬品 動物用ワクチンの添加剤として使用する成分（植物性ペプトン、鶏卵の卵黄成分）※	2
2023/11/21	厚	プリオン スウェーデンから輸入される牛肉及び牛の内臓※	1
2023/11/29	農	動物用医薬品 プロフラニリドを有効成分とする鶏舎噴霧剤（リブケアFL）■	1
2023/11/29	厚	農薬 イソフェタミド■、フルキサメタミド■	2
2023/12/26	厚	動物用医薬品 フェノキシエタノール■	1
2023/12/26	厚	微生物・ウイルス 乳及び乳製品の成分規格等に関する省令（昭和26年厚生省令第52号）の改正について	1

60

（注）

一：食品安全基本法第24条第1項案件（企業申請を含まない。）

☆：ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件

※：食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件

■：食品安全基本法第24条第1項に基づく意見聴取案件かつ企業申請案件（平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ）

◎：食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価案件

IV その他

通知日	通知先	件名
2004/1/30	厚・農・環	遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準 遺伝子組換え植物の掛け合わせについての安全性評価の考え方
2004/3/18	農	普通肥料の公定規格に関する食品健康影響評価の考え方
2004/3/25	厚・農・環	遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の安全性評価基準
2004/5/6	厚・農・環	遺伝子組換え飼料及び飼料添加物の安全性評価の考え方
2004/8/5	厚・農	特定保健用食品の安全性評価に関する基本的考え方
2004/9/30	農	家畜等への抗菌性物質の使用により選択される薬剤耐性菌の食品健康影響に関する評価指針
2005/4/28	厚・農・環	遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物のうち、アミノ酸等の最終産物が高度に精製された非タンパク質性添加物の安全性評価の考え方
2006/6/29	厚・農	暫定基準が設定された農薬等の食品健康影響評価の実施手順
2007/9/13	厚・農	食品により媒介される微生物に関する食品健康影響評価指針（暫定版）
2008/6/26	厚・農・環	遺伝子組換え食品（微生物）の安全性評価基準
2010/5/27	厚	添加物に関する食品健康影響評価指針
2016/5/17	厚	香料に関する食品健康影響評価指針
2017/7/18	厚	添加物に関する食品健康影響評価指針（改正） 栄養成分関連添加物に関する食品健康影響評価指針 添加物（酵素）に関する食品健康影響評価指針
2018/4/10	厚・農	動物用医薬品に関する食品健康影響評価指針
2018/9/25	厚・農	飼料添加物に関する食品健康影響評価指針 動物用医薬品に関する食品健康影響評価指針（改訂）
2019/5/28	厚	食品用器具及び容器包装に関する食品健康影響評価指針
2019/10/1	厚・農	残留農薬に関する食品健康影響評価指針
2019/10/29	厚・農	食品健康影響評価におけるベンチマークドーズ法の活用に関する指針
2019/11/13	厚・農	遺伝子組換え植物の掛け合わせについての安全性評価の考え方
2020/3/24	厚・農	食品安全委員会専門調査会等運営規定 改正
2020/6/16	厚・農	残留農薬の食品健康影響評価におけるコリンエステラーゼ阻害作用を有する農薬の取扱いについて
2020/7/7	厚・農	暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物に係る食品健康影響評価の考え方について
2020/10/6	厚	食品用器具及び容器包装に関する食品健康影響評価指針（改訂）
2021/4/6	厚・農	残留農薬に関する食品健康影響評価指針（改訂）
2021/5/18	厚・農	飼料添加物に関する食品健康影響評価指針
2021/9/29	厚	添加物に関する食品健康影響評価指針（改正） 香料に関する食品健康影響評価指針（改正） 添加物（酵素）に関する食品健康影響評価指針（改正） 栄養成分関連添加物に関する食品健康影響評価指針（改正）
2022/3/22	農	家畜等への抗菌性物質の使用により選択される薬剤耐性菌の食品健康影響に関する評価指針の一部改正 食品を介してヒトの健康に影響を及ぼす細菌に対する抗菌性物質の重要度のランク付けについての一部改正
2022/6/21	厚・農	食品により媒介される微生物等に関する食品健康影響評価指針（改正）
2023/9/12	厚・農	食品健康影響評価におけるベンチマークドーズ法の活用に関する指針〔動物試験で得られた用量反応データへの適用〕（改正）